

ならのがん医療見える化推進事業

この10年間の奈良県のがんにかかる現状・課題

進んだこと

◆県内のがん医療提供体制

- がんの専門的な医療を提供する拠点病院等を、南奈良総合医療センターを含め、県内に9カ所整備
- 手術療法、放射線療法、化学療法を組み合わせた集学的治療の提供
- 専門的知識・技能を有する医師・看護師等従事者の配置

◆県のがん死亡率は大きく改善

75歳未満年齢調整死亡率は10年間で、
全国34位から9位 →減少率は全国一

◆県地域がん登録の精度が向上

データ精度が国際基準に
2011年～2014年症例の4年分のデータを蓄積

今後進める必要のあること

◆医療の質の充実

- 拠点病院等に人材と症例を集約

◆データに基づいたがん対策

- がん患者が医療機関を選択する際の比較データの整備
- がん登録データを活用したがん治療の提供
- 地域別やがん種別のデータ分析による有効ながん対策の実施（がんの罹患・死亡には地域差がある）

がん診療情報見える化推進事業

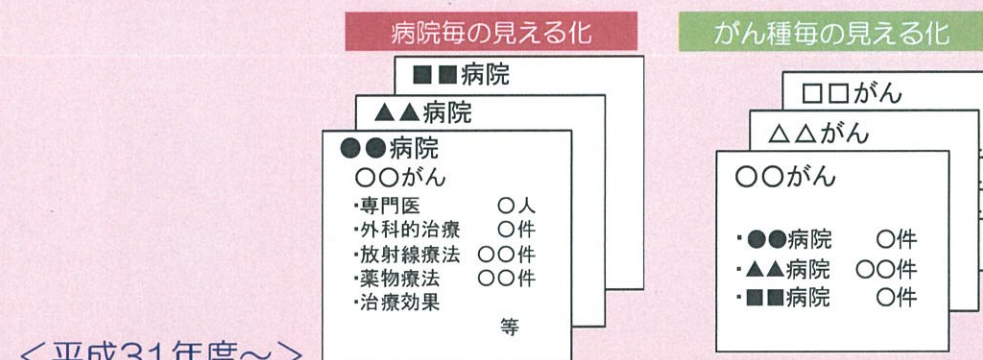
＜平成30年度＞

◆医療関係者へ診療情報が見える化

- 県内のがん診療情報を病院別、がん種別などを比較
病院の「強み・弱み」を明確化（病院間で情報共有）

◆県民への公表方法等の検討

（対象病院）がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院
奈良県がん診療連携支援病院 計 9病院
（がん診療情報となるデータの主なもの）
がん登録（地域がん登録、院内がん登録）、現況報告、
患者意識調査 等



＜平成31年度～＞

◆県民にわかりやすくがん診療情報を提供

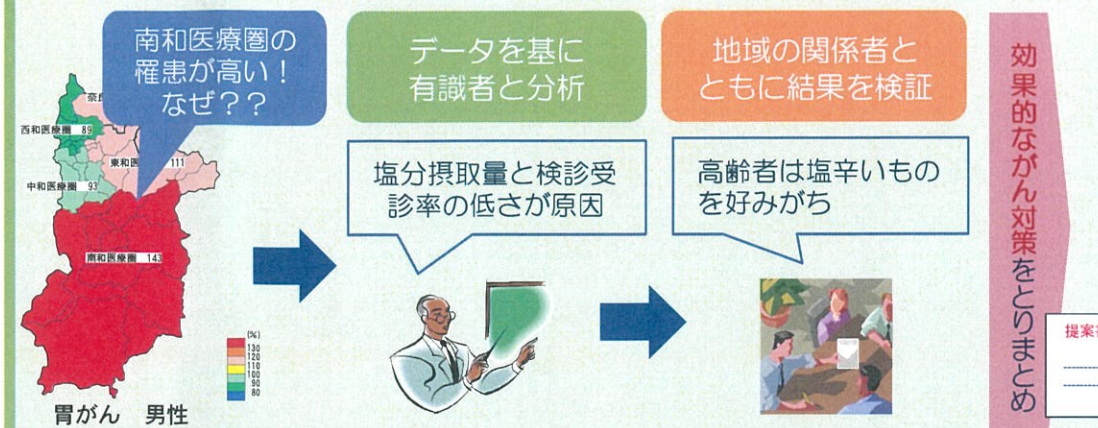
地域別がん対策見える化推進事業

＜平成30年度＞

◆地域別・がん種別のデータ分析、がん対策の提言

- がん関連データを分析し、分析結果に基づいた地域における効果的ながん対策の取組を提案（モデル地域：南和医療圏）

たとえば…



＜平成31年度～＞

◆医療圏の拡大

めざす姿

県内の「がん医療の質」が向上

- ・拠点病院等において技術力と治療の安全性が向上
- ・各病院が、より強みを活かすがん診療が提供可能
- ・県民が県内の病院を客観的に選べる

地域の課題が改善

- ・データや地域の声に基づいた、より説得力のある有効ながん対策を実効

がんで亡くならない県、
日本一へ

（１）がん診療情報見える化推進事業- 1

1. データの収集・確認

地域がん登録 院内がん登録
拠点病院等の現況報告 患者意識調査 等

7月

作業中

2. データの整理・集計

8～9月

・1で収集したデータを元に、基本情報のほか、がんの種類別・臨床進行度別の症例数や治療成績（5年相対生存率）等を病院ごとに整理

3. 集計結果の分析

10月

・2の集計結果を元に、病院ごとの強み・弱みを分析
 ➢ それぞれの病院において、どのがん種・臨床進行度の治療を得意としているか／どんな弱みがあるか（他病院との比較、自病院の中での比較等）
 ➢ 患者の属性（年齢、発見経緯、患者住所地）に見る自院の特徴
 ➢ アピールポイントになる体制・設備

4. 拠点病院等への聞き取り

11月

・3の分析結果を病院に個別にフィードバック
 ・データには必ずしも現れない取り組み事例等を聴取

5. 意見交換会（9病院合同）

12月

・奈良県のがん医療の現状・課題、各病院が担う機能や好事例等を共有
 ・病院間の役割分担、今後強化すべき取り組みの方向性等を検討

6. 取りまとめ

1～2月

本業務の
成果物を活用して

各拠点病院等が、

- ・自院の「強み」について適切に県民へアピール／「弱み」について院内で対応を検討
- ・他院の「好事例」等を参考に、自院の医療の質を向上

データ整理・集計の方法

■ 主な集計項目（いずれも病院別に整理）

- 病院の基本情報・体制等（住所、病床数）
- 患者属性別症例数（年齢、性別、発見経緯、来院経緯等）
- がん種別・進行度別の症例数、治療成績（5年相対生存率）、治療実績
- がん医療の体制（専門職、緩和ケア体制、相談体制、機器整備状況等）
- 患者満足度、病院からのメッセージ

■ 集計のイメージ

がんの種類等	臨床進行度	OPS	データ項目（案）	A病院	B病院	...	出典	備考
基本情報			- 住所					
			- 電話番号					
			- 開設者					
			- 標榜診療科					
			- 一般病床数					
患者数等			- 年間新規入院がん患者数					
			- 年間外来がん患者のべ数					
			- がん登録数（全件）					
肺がん	全般		- 症例数					
		O	5年相対生存率					
	限局		- 症例数					
		O	5年相対生存率					
	...		- 症例数					
		O	5年相対生存率					
		P	肺がんにおける開胸手術件数					
		P	肺がんにおける胸腔鏡下手術件数					
		S	一般社団法人 日本呼吸器学会 呼吸器専門医					
		S	呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医					
		S	一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科専門医					

■ 成果物のイメージ

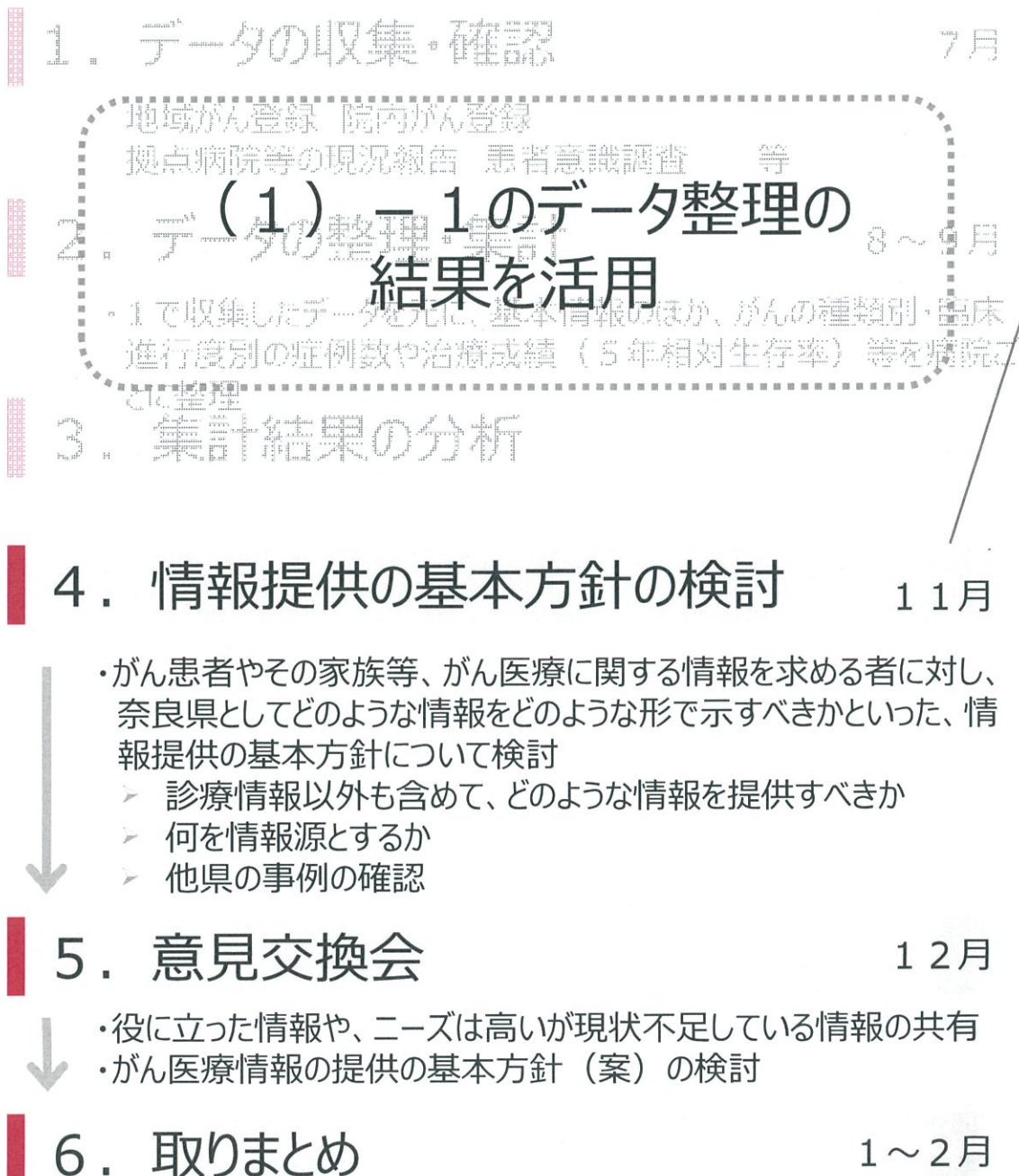
■ ○○病院

- 基本情報
- 肺がん（集学的治療 有）
 - ・ 5年相対生存率
 - 全数 ○%
 - 限局 ○%
 - ・ 治療実績
 - 外科的治療 ○件
 - ・ 体制

■ ○○がん

- 全数
 - ・ 5年相対生存率
 - 病院 ○%
 - △△病院 ○%
 - ・ 外科的治療
 - 病院 ○件
 - △△病院 ○件
- 限局

(1) がん診療情報見える化推進事業- 2



情報提供のあり方についての方向性

- がん患者・家族が求める情報ニーズは非常に多様であることから、真に患者・家族の役に立つ情報の提供がなされるよう、(1)-1で整理するがん医療の診療情報を体系的に示すことを重視しつつ、患者・家族の心理とライフコースを踏まえ、以下の5類型の情報がセットで提供される方法を検討

がん医療情報の5類型	既存の情報源
1.闘病哲学	・がんと診断された患者・家族が理解しておくべきことや取るべき行動についての助言 ・国立がん研究センターがん情報サービス(がんになったら手に入るガイド)
2.病気・治療に関する情報	・具体的にどのような病気なのか ・具体的にどのような治療を行うのか ・国立がん研究センターがん情報サービス(がんの解説)
3.医師・病院を選択するための情報	・病院ごとの治療成績・実績、体制、特徴 ・病院の所在地・連絡先 ・がん登録データ ・拠点病院等の現況報告
4.闘病ノウハウ	・状態に合わせて闘病していくための助言(生活の工夫、利用可能な制度や支援内容等) ・国立がん研究センターがん情報サービス(生活・療養)
5.相談窓口・患者仲間	・行政の相談窓口や患者サロンの所在地・連絡先、活動内容 ・がんネットなら

本業務の
成果物を活用して

患者・家族が、ライフコースに応じて適切な情報を収集し、病院や治療方法等を選択
⇒来年度以降にWebサイトに実装し公表（予定）

参考：他府県の事例

大阪府「がん診療拠点病院検索」

- 例：大阪府がん登録資料に基づいた診療実績（患者数・生存率）

肺

表. 受療状況および進展度別生存率集計表

医療 圏	医療機関名	2010-12 初発受療 集計対象 患者数	受療状況(%)			2010-12 初発 患者数	カバ ー 率 %	2005-09 初発主治療		臨床進行度							
			手術	放射線	化学 療法			患者数	生存 率%	限局		領域		遠隔		病期調 整 生存率%	
										患者数	生存 率%	患者数	生存 率%	患者数	生存 率%		
府	大阪府	20,703	32.5	17.8	43.0	23,376	100.0	21,299	27.8	4,911	75.5	5,930	25.9	8,000	4.8	28.0	
市 北 部	大阪市立総合医療センター	1,002	43.4	14.2	41.3	1,020	4.4	831	38.0	249	79.5	281	34.1	294	7.5	34.0	
	中津病院	320	28.1	13.8	38.1	324	1.4	245	25.5	47	72.2	73	30.5	125	5.2	27.0	
	北野病院	410	48.3	16.8	62.2	417	1.8	384	40.7	110	90.7	117	33.6	123	12.5	35.7	
	住友病院	243	61.3	14.4	45.3	244	1.0	214	62.4	102	89.7	48	59.5	51	15.5	47.8	
	淀川キリスト教病院	305	27.5	13.8	37.0	308	1.3	226	21.4	63	60.1	79	19.3	83	2.7	20.2	
市 西 部	大阪病院	246	32.5	29.3	59.8	247	1.1	158	44.1	67	83.3	38	25.1	51	8.6	29.4	
	関西電力病院	192	37.5	22.9	51.0	192	0.8	215	39.8	74	79.3	82	31.1	58	1.9	27.7	
	日生病院	33	15.2	33.3	48.5	33	0.1	10	-	0	-	<5	-	9	-	-	
	多根総合病院	79	10.1	19.0	16.5	90	0.4	14	-	0	-	<5	-	10	-	-	
	泉尾病院	73	6.8	6.8	57.5	74	0.3	15	-	<5	-	<5	-	13	-	-	
市 東 部	千船病院	52	7.7	7.7	30.8	54	0.2	11	-	<5	-	<5	-	5	-	-	
	大阪国際がんセンター	768	52.1	24.3	43.4	768	3.3	1,018	61.2	455	91.4	341	52.4	221	14.2	41.0	
	大阪赤十字病院	635	28.2	20.0	59.4	658	2.8	481	35.2	124	80.2	162	33.8	185	7.3	33.2	
	大阪医療センター	207	42.5	19.8	35.3	207	0.9	206	49.3	82	89.7	58	38.3	60	2.0	38.3	
	大阪警察病院	503	34.2	18.7	47.7	507	2.2	429	32.6	105	87.0	136	27.8	187	7.5	30.6	
市 南 部	NTT西日本大阪病院	17	5.9	11.8	23.5	17	0.1	91	16.0	16	-	19	-	54	2.0	-	
	野江病院	266	24.8	16.2	61.3	266	1.1	192	19.8	45	59.2	63	26.4	81	1.4	21.5	
	大手前病院	158	32.3	27.8	42.4	158	0.7	84	26.7	22	-	24	-	35	0.0	-	
	大阪市立大学医学部附属病院	715	36.4	24.1	51.3	715	3.1	715	30.5	161	76.8	259	30.8	291	5.0	31.3	
	大阪鉄道病院	209	22.5	16.3	52.6	209	0.9	114	19.8	24	-	39	20.3	50	4.1	-	
豊 能	大阪急性期総合医療センター	529	21.7	30.1	46.3	530	2.3	382	28.1	84	74.5	124	28.1	172	5.3	32.8	
	東住吉森本病院	115	15.7	7.8	31.3	116	0.5	<5	-	0	-	<5	-	<5	-	-	
	南大阪病院	148	25.7	15.5	38.5	148	0.6	111	21.3	35	37.4	32	23.7	43	2.7	27.8	
	大阪大学医学部附属病院	423	50.8	18.9	31.9	423	1.8	311	57.2	138	87.8	97	53.0	76	7.3	37.6	
	市立豊中病院	298	20.1	22.1	47.7	301	1.3	169	16.0	27	-	48	13.7	88	6.4	-	
三 島	市立池田病院	130	13.1	16.9	42.3	130	0.6	40	8.2	<5	-	11	-	24	-	-	
	箕面市立病院	123	42.3	1.6	34.1	123	0.5	95	37.4	26	-	28	-	41	3.0	-	
	刀根山病院	354	26.0	18.1	57.1	354	1.5	146	76.6	98	91.1	41	49.1	<5	-	-	
	吹田病院	329	38.9	17.0	51.4	331	1.4	362	23.6	111	60.0	132	24.5	114	1.9	*	
	市立吹田市民病院	191	50.8	7.9	33.0	191	0.8	152	36.4	50	75.3	45	35.5	57	3.9	28.6	
高 槻	千里病院	117	12.0	10.3	52.1	118	0.5	50	7.5	<5	-	14	-	34	6.5	-	
	大阪医科大学附属病院	446	54.5	22.2	43.0	449	1.9	400	41.0	134	79.1	104	38.2	148	6.0	38.2	
	北摂総合病院	105	39.0	2.9	63.8	121	0.5	111	26.7	30	68.1	31	21.4	45	5.1	23.6	
	高槻赤十字病院	350	34.6	19.1	56.0	351	1.5	349	42.7	121	85.4	105	31.4	116	8.7	35.3	
	高槻病院	191	34.0	21.5	41.9	193	0.8	212	27.8	51	67.2	71	22.5	89	9.8	25.5	
高 槻	関西医科大学附属病院	660	37.3	17.3	63.9	662	2.8	474	32.9	135	75.8	155	30.6	170	6.6	29.4	

沖縄県「おきなわがんネット みるん・しるん」

- 例：がんの種類別・ステージ別の各病院のがん登録者数



⇒これらの事例を参考に、奈良県における情報提供のあり方を検討

出典元:院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状（院内がん登録集計報告書）（2014年症例）
2017年01月31日集計

(2) 地域別がん対策見える化推進事業

1. データの収集・確認

7月

地域がん登録 人口動態統計 地域保健・健康増進事業報告
奈良県健康長寿基礎調査 奈良県民・健康食生活実態調査
等

2. データの整理・集計（一次集計）

8月

- ・1で収集したデータを元に、奈良県及び各医療圏のがん医療の概況について整理
- ・南和医療圏にて特に対応策を検討すべきがん種や対象市町村を選定

3. 二次集計・分析、市町村訪問

9～11月

- ・2の集計結果を踏まえ、対象とするがん種、市町村の状況について、さらに詳細な集計・分析を実施
- ・対象市町村に集計結果を提示し、データには必ずしも現れない課題の背景・要因の仮説、現場の課題意識、取り組み状況等を聴取

4. 意見交換会

12月

- ・南和医療圏のがん医療の現状・課題や、がん対策の充実に向けた取り組みの大まかな方向性を共有
- ・データによる整理結果に関する現場としての妥当性や今後充実させるべき取り組み等について検討

5. 提案の取りまとめ

1～2月

本業務の
成果物を活用して

南和医療圏の市町村が、がん医療の現状・課題及び今後の目指すべき方向性を共有し、がん対策の充実・強化に向けた取り組みを推進

データ整理・集計のイメージ

■ 主な集計項目（いずれもがん種別・医療圏別・市町村別に整理）

【基礎情報】

- 人口、年齢構成、産業、
- 受療率（患者住所地／医療機関所在地）、県外流出状況

【死亡】

- 標準化死亡比

最終アウトカム

【罹患】

- 標準化罹患比

【生存】

- 5年相対生存率

【早期発見】

- 臨床進行度別患者数

中間アウトカム

【医療の質】

- 臨床進行度別生存率
- 治療方法別実施率

【生活習慣】

- 喫煙率
- 塩分摂取量

初期アウトカム

【検診】

- がん検診受診率
- 精検受診率

【医療体制】

- 専門的医療従事者数
等